

東日本大震災の被災地支援活動

山田養蜂場と岡山大学が協力！

福島県の子どもたちを山田養蜂場にご招待

～養蜂業を通じた体験学習を行います～

日 時：2012年8月8日（水）10:30～13:00

開催場所：山田みつばち農園 ※添付資料（2ページ目）参照

参加予定：福島県の子どもたち 11名（内1名が引率者）

株式会社 山田養蜂場では、被災地支援に取り組んでいる岡山大学の学生と教職員からなる団体「おかやまバトン」と協力をして、8月8日（水）の10時30分から13時までの間に、福島県の子供たちを招いて、弊社グループ会社の山田みつばち農園で養蜂業を通じた体験学習を実施いたします。

現在、環境破壊や生活スタイルの変化にともない、子どもたちが自然と触れ合える機会が少なくなっています。次の時代を担っていく子どもたちに、「自然との共生」「命の大切さ」「命のつながり」などを伝えていくことが、養蜂業を原点とする弊社の使命であると私たちは考えております。また、放射能の影響で、外で満足に遊べない子どもたちのためにも、今回の取り組みを実施したいと思います。

本体験を通して、子どもたちにミツバチの不思議や自然界における受粉などの役割を知ってもらい、子どもたちの成長に貢献することを目的として実施いたします。

- ◆実施日：2012年8月8日（水）
- ◆対 象：福島里の子会（小学校4年生～中学校3年生の子どもたち）
- ◆参加者：11名（生徒10名、先生1名）
- ◆スケジュール：10:30 山田みつばち農園 到着 & 山田養蜂場の紹介
11:10 養蜂のレクチャー
11:30 巣箱の観察
11:50 採蜜作業
12:20 ミツロウ工作
12:50 質疑応答
13:00 解散

本件に関するお問い合わせ

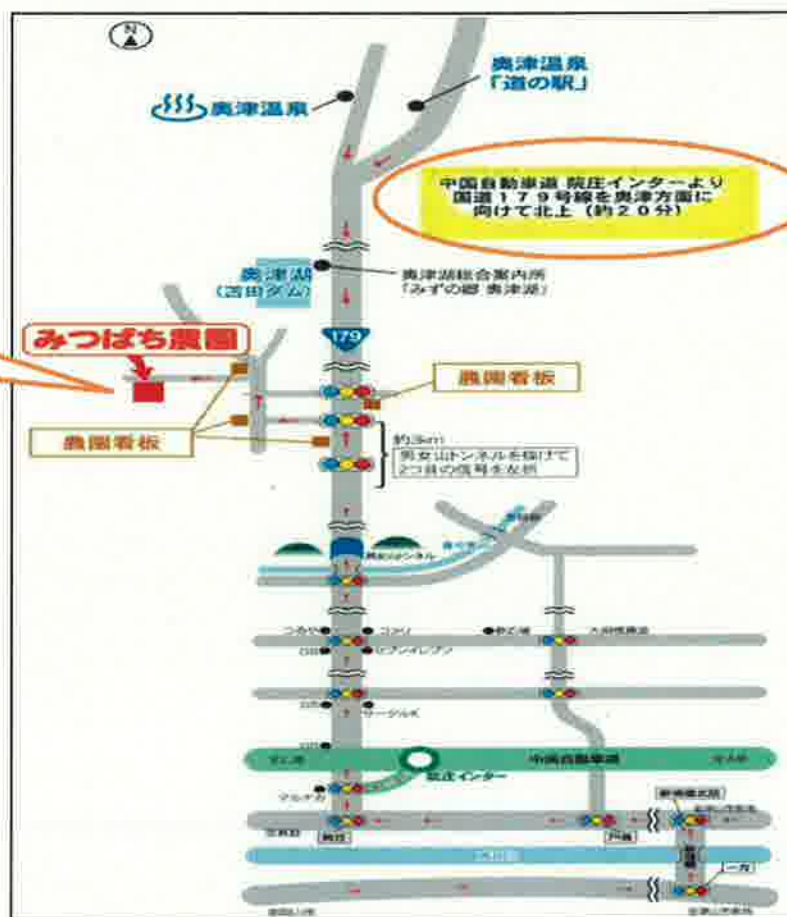
株式会社 山田養蜂場 広報室 吉川/柏原
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
TEL:0868-54-1906（月～金 9:00～17:30、土日祝除く）
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>

山田みつばち農園とは

ミツバチの役割・自然と共生する姿を楽しく学べる体験型の農園。イチゴとブルーベリーの観光摘み取り農園を主軸として、ミツバチ産品やはちみつソフトクリームの販売を手掛けています。また、観察巣箱を使ったミツバチ観察・養蜂・採蜜体験、ミツロウキャンドル作り体験など各種の体験ができる施設もあります。農産物の生産にも力を入れており、昔ながらのレンゲを緑肥とした特別栽培のお米や生姜、自然薯などを生産しています。

【アクセス】

山田養蜂場から
車で10分。



おかやまバトンとは

おかやまバトンは、昨年3月11日に起こった東日本大震災を受けて、何かしたいという思いを持つ岡山大学の学生や教職員有志によって同年5月に発足した被災地支援団体です。今では他大学の学生も加わり、約30名で活動を行っています。「息の長い被災地支援」を1番の目的とし、岡山からできる被災地支援を考え実行しています。昨年度は2回の「※受け入れプロジェクト」を実施しました。本年度もおかやまバトンは「受け入れプロジェクト」を軸とした様々な活動を通して、被災地支援を行うことを目標としています。

岡山県を中心に被災地支援を行うことによって、岡山の活性化を図りつつ、地域の人に被災地の現状について考えてもらうきっかけにさせていただきたいと考えております。そして、この活動を通して被災地との絆をより一層深めていくことを目指しています。

※受け入れプロジェクト：福島県や宮城県の小中学生や中学生を対象として、岡山県に招き「うらじゃ」への参加や海水浴、海での体験学習等を実施しています。2011年度は8月と12月の合計2回実施しています。